

集中治療室へ予定外入室した患者の病状変化の予兆に関する調査のお知らせ

当院では、治療や療養をされている患者さんの病状の変化をいち早く察知し、病状が重篤化しないように専門チーム（Rapid response Team）が活動しています。様々な基準を用いて、病状変化をきたす前に変化に気づくように努めていますが、急性な病状変化により集中治療室での治療を必要とする方がいらっしゃるのも事実です。今回、予定されたもの以外に、集中治療室に入室となった患者さんの病状経過について、診療録を振り返ることで、今後のRRTの活動に役立て、病状変化をきたしそうな患者さんの早期発見に努めていきたいと考えております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2024年1月から2025年2月の間に手術後など予定された入室以外で緊急に入室となった患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、病状変化をきたした状況等に関するデータを抽出し、統計学的に解析を行います。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院

看護師 立野淳子

〒802-8555

北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号

電話 093-511-2000（代）

